

(参考資料)

2025年東京開催 世界陸上・デフリンピックについて

◆◆東京 2025 世界陸上競技選手権大会◆◆

1 世界陸上競技選手権大会の概要

- ワールドアスレティックス(WA)が主催し、2年毎に開催される、陸上競技ではオリンピックと並ぶ世界最高峰の大会
- 第1回は、1983年フィンランドのヘルシンキで開催
- 2025年大会は、20回目の大会
- 大会の特徴(過去大会事例)は、次のとおり
 - ・テレビ放送、ライブ配信等により世界で約10億人が視聴
 - ・3,000名規模のボランティアが参加
- 東京での開催は1991年大会以来であり、2007年大阪大会を含めて、通算3回目の日本開催

2 東京 2025 世界陸上競技選手権大会(東京 2025 世界陸上)の概要

招致主体: 公益財団法人 日本陸上競技連盟

主催: ワールドアスレティックス(WA)

日程: 2025年9月13日～21日(9日間)

種目数: 49種目(男子24種目、女子24種目、男女混合1種目)

競技会場: 東京・国立競技場(マラソン、競歩は東京都内での実施を予定)

選手数: 約200か国・地域、約2,000人

◆◆第25回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025◆◆

1 デフリンピック競技大会の概要

- 国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が主催し、4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会
- 第1回は、1924年フランスのパリで開催
- 2025年大会は、デフリンピック100周年の記念すべき大会
- 大会の特徴は、次のとおり
 - ・裸耳状態での聴力損失が55デシベル以上で、定められた出場条件を満たした選手が出場資格を有する
 - ・競技は一般(健聴者)の競技ルールに準拠
 - ・競技会場、試合中は補聴器等の装着を禁止
 - ・手話の他、スタートランプや旗等を利用した視覚による情報保障が必要

2 第25回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025(東京 2025 デフリンピック)の概要

招致主体: 一般財団法人 全日本ろうあ連盟

主催: 国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)

日程: 2025年11月15日～26日(12日間)

競技数: 21競技(陸上、水泳、卓球など)

競技会場: 主に都内会場、サッカーは福島県、自転車は静岡県で実施予定

参加者数: 70～80か国・地域から各国選手団等 約6,000人(選手約3,000人、ICSD役員・SD・審判・スタッフ約3,000人)